

令和4年4月1日  
校長 甚野 雄治

## 令和4年度 杉並区立松ノ木小学校経営方針

### 教育目標

自らが学ぶ意思をもち、自らの可能性を最大限に發揮し、よりよい未来の作り手として「関わり」「つながり」「実感」を伴った学びを続ける児童の育成を目指し、以下の教育目標を掲げます。

- やさしい子供 生命を尊重し、一人一人のかけがえのないのちを大切にし、他を思いやるやさしい心を備えた子
- 考える子供 自分の力で粘り強く考え、正しく判断し、創意・工夫をし、自主的・自発的に行動する子
- たくましい子供 心身ともに健康で活力に満ちたたくましい子

### 1 基本方針

#### 目指す学校の姿

「自ら学ぶ児童を育てる」学校

#### 目指す児童の姿

自分に自信をもち、粘り強く学びに向かう子供

#### <子供の笑顔のために>

私たちの取組はすべて「子供の笑顔」のためにあります。一人一人の子供が、納得できる学校生活が送れるよう、子供たちとしっかりと向き合っていきます。このことは「杉並区教育ビジョン2022」の「みんなのしあわせを創る教育」の理念にもつながります。児童一人一人が安心して学ぶことを通して自己肯定感を高め、自信に繋げられるよう努めます。そして、一人一人の学びの成果を贈り合い、教え合うことを通して、新たな価値を創り出すとともに、誰一人取り残すことない学びの場を実現します。

### 2 指導の重点

- 個別最適化された学びの実現
- 児童が主体的に関わる学習活動の実現
- 関わりと実感を伴った学びの実現

子供たちが将来にわたって生きていく上で最も必要な力、それは自ら学ぶ意思をもち、自らの可能性を最大限に活かし学んでいく力です。特にAIが発達した今の時代、よりよい未来の担い手として、人と人との関わるからこそできる学び、実感できる学びこそが学校で求められる学習の形です。そういう学びを通して、教職員一人一人が力と個性を最大限に發揮し子供たちの学習を支えていきます。

### 3 重点を達成するための視点

重点を達成するために「子供」「教職員」「保護者・地域」の3つの視点で教育活動を進めます。子供と関わるすべての人が、当事者意識をもってその責任を果たしながら、子供たちと関わり、育てていきます。

#### ○子供が主体の学校づくり ~子供の笑顔はみんなの力の源~

学校運営の一番の基準は「子供たちのために」。安全・安心の学校づくりはもとより、確かな学力を保障します。関わりと実感を通して、主体的な学習態度を育てます。学力保障と共に自己肯定感を高め自信をもって生きる子供を育てます。

##### 3つの向上

○学力向上 ○コミュニケーション力向上 ○自己肯定感向上

#### ○プロの技が光る授業 ~教師の笑顔は子供の力の源~

教師としての最大の義務である授業の力を高めます。校内研究を軸に、研修や多様な人材活用を通して、自らの資質向上と共に、専門性の向上に努めます。また、個々の児童の実態に応じた指導を展開し、児童の学力向上に努めます。ＩＣＴ機器も積極的に活用します。そういうことの積み重ねが、よりよい学級集団の育成、ひいては学校づくりにつながります。

##### 3つの充実

○個別最適化された指導の充実 ○授業の充実 ○学級経営の充実

#### ○当事者意識をもったチーム松ノ木 ~保護者・地域の笑顔は子供の力の源~

子供たちの健全育成のためには、家庭・地域との協働は不可欠。保護者・地域・ＣＳ・支援本部の力を最大限に生かし、地域の人材を活用した学校運営を行います。また、地域と関わる学習を展開することで、地域に生きる児童を育成します。それぞれの立場の方が当事者意識をもって協働することで、より豊かな幅の広い学習環境が整うことになります。

##### 3つの協働

○教職員の協働 ○保護者との協働 ○ＣＳ・学校支援本部との協働

## 令和4年度の教育活動について

### ＜杉並区感染に関する基本方針＞

- I 児童生徒には不織布マスクを推奨し、教職員は原則不織布マスクとし、常に、マスクの着用を基本とする。
- II 活動中の児童生徒同士の間隔は、一定の身体的距離を確保し、2方向の窓やドアを開けるなど、十分な換気を行う。また、大声を出すような活動は避ける。

## 子供たちの健康と安全を 保護者・地域と協力して守る

このことを第一に考えます。新型コロナウイルスの感染はいまだに一進一退の状況です。不安も多いと思いますが、正確な情報と知識に基づいて、しっかり準備をして、正しく恐れることが大切だと考えています。

## 学校の衛生管理

### ◇健康観察の継続

- ・健康観察カードの内容（検温の様子やチェック項目）を基に、児童の健康状態を把握します。ご家庭での、朝の健康観察を引き続きお願いします。

### ◇手洗いの徹底、ソーシャルディスタンスの確保、マスクの着用

- ・石鹼と流水でしっかりと洗います。
- ・自分のハンカチを必ず使うことを徹底します。
- ・教室では前向きに座ります。授業中の話し合いや友達同士の相談などの場面は、距離と向きに気を付けて行います。
- ・マスクの着用を原則とします。学習活動の内容や気温などの状況で、はずすこともありますが、必要な場面ではマスクを付けますので、忘れずに用意してください。
- ・マスクを落としてしまったとき用に、予備のマスクを必ず持たせてください。

### ◇学習場面での留意事項

- ・話し合いや実験、体験的な学習などは子供同士の距離や向きなどを考えて実施します。
- ・体育など呼吸に負担がかかるときや熱中症の恐れがあるときは、マスクを外すこともあります。その場合、会話はしません。
- ・歌唱の際もマスクをします。
- ・リコーダや鍵盤ハーモニカなどの演奏の際は子供同士の距離や向きなどを考えて実施します。
- ・共用のもの（クラスボールや跳箱、実験器具など）は使用後に消毒をします。

#### ◇教室環境への配慮

- ・換気の徹底をします。教室の対角の窓と出入り口は開けます。換気扇を常に稼働させます。

#### ◇安全な給食

- ・前向きで食べます。また、必要のない会話は控えるよう指導します。
- ・食べるとき以外は給食当番でなくとも必ずマスクを着用します。

### 【その他の本年度の取組】

#### ○学校行事の工夫

3年前から運動会については児童を含め関係者への負担軽減や熱中症対策の面から、コンパクトな開催に取り組んできました。本年度も引き続き「松ノ木スポーツフェスティバル2022」として、競技種目の精選などを行い開催します。

その他の学校行事も、ねらいに即して開催方法を考えていきます。また、当面の間は感染状況を踏まえた開催になります。

#### ○ＩＣＴ機器の活用

昨年度、全校児童にタブレット端末を配布しました。現在、すべての機器の年度更新を手作業で行っています。配布まで今しばらくお待ちください。このタブレット端末は学習で子供たちが使うための機器です。区からの貸与となっていますので扱いには十分ご留意ください。

#### ○6年生移動教室多様化実施

令和2年度から杉並区のパイロット校として取り組んでいる移動教室多様化事業に本年度も取り組みます。複数の民宿に分泊して、自分たちで考えた生活スケジュールに沿って4日間の生活をします。この取り組みでも、子供たちが考え、自分たちの行動に自信と責任をもって取り組めるようにします。